

世界セレクトティブ株式 オープン (年2回決算型)

運用報告書 (全体版) 第13期

(決算日 2026年4月27日)

(作成対象期間 2025年10月28日~2026年4月27日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2020年2月3日~2050年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。各計算期末における収益分配前の基準価額(1万円当り)が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめぐに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
9期末(2024年4月25日)	円 10,093	円 2,390	% 24.7	22,048	% 23.9	% 0.0	% 99.1	百万円 10,511
10期末(2024年10月25日)	10,189	600	6.9	24,411	10.7	0.0	99.4	12,056
11期末(2025年4月25日)	9,378	0	△ 8.0	22,333	△ 8.5	0.0	98.6	11,996
12期末(2025年10月27日)	10,284	1,050	20.9	29,258	31.0	0.0	99.3	13,180
13期末(2026年4月27日)	10,178	360	2.5	32,473	11.0	0.0	99.2	13,131

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,284円

期末：10,178円（分配金360円）

騰落率：2.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

為替が円安に推移したことを主因に、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コクサイ 指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 比	託 券 率 入 証 比
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2025年10月27日	10,284	% -	29,258	% -	0.0	99.3	
10月末	10,191	△0.9	29,531	0.9	0.0	97.7	
11月末	10,378	0.9	30,002	2.5	0.0	99.0	
12月末	10,463	1.7	30,603	4.6	0.0	99.1	
2026年 1 月末	10,247	△0.4	30,556	4.4	0.0	99.5	
2 月末	10,273	△0.1	31,023	6.0	0.0	99.3	
3 月末	9,598	△6.7	29,121	△ 0.5	0.0	99.1	
(期末) 2026年 4 月27日	10,538	2.5	32,473	11.0	0.0	99.2	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.10.28~2026.4.27)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は上昇しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市況は、当作成期首から2025年11月中旬にかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金利引き下げ期待などにより上昇しました。2026年2月下旬にかけては、米国の政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落する場面がありましたが、半導体関連企業等の好決算が支援材料となり、上昇しました。3月下旬にかけては、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり、下落しました。しかし当作成期末にかけては、停戦交渉が進展するとの期待感により市場がリスクオンに転じ、反発しました。

■為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首から2026年1月中旬にかけて、自民党総裁選挙の結果や日本の衆議院解散を受けた、積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待等から、円安米ドル高が進行しました。しかし2月中旬にかけては、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高米ドル安が進行しました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化でリスク回避姿勢が強まり、幅広い通貨に対して米ドルが買われる中、原油価格の急騰によって日本の貿易収支悪化の思惑が強まったことでリスク回避の円買いが限定的となり、円安米ドル高となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.10.28~2026.4.27)

■当ファンド

当ファンドは、「MF Gグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」を投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「MF Gグローバル株式ファンド」の投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

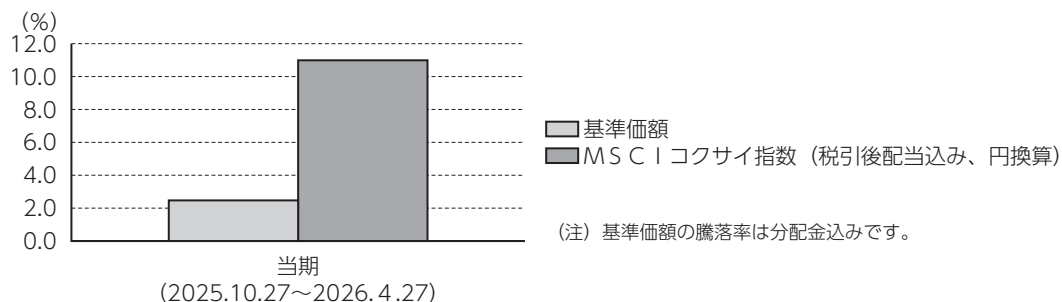
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年10月28日 ～2026年4月27日	
当期分配金（税込み）	（円）	360
対基準価額比率	（%）	3.42
当期の収益	（円）	257
当期の収益以外	（円）	102
翌期繰越分配対象額	（円）	522

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.39円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	257.13
(c) 収益調整金		307.61
(d) 分配準備積立金	✓	316.89
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		882.03
(f) 分配金		360.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		522.03

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.10.28~2026.4.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.562%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,228円です。
（投 信 会 社）	(17)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(39)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	58	0.566	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

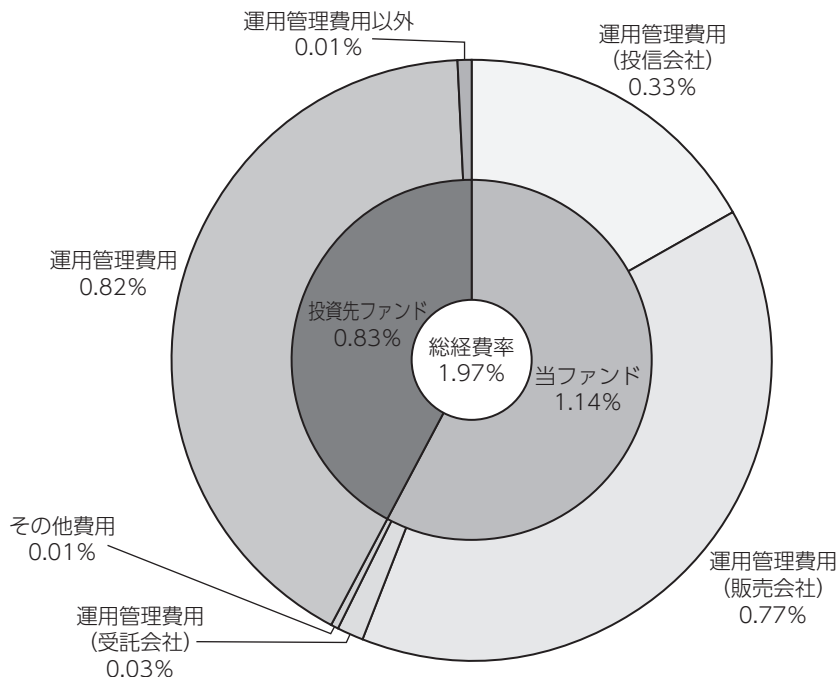
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



総経費率 (①+②+③)	1.97%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年10月28日から2026年4月27日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アンカーMF Gグローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 193,846.293	千円 477,000	千口 379,770.097	千円 946,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMF Gグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 5,097,471.186	千円 13,020,470	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 0	千口 0	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 13,020,470	% 95.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	672,161	4.9
投資信託財産総額	13,692,633	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,692,633,610円
コール・ローン等	672,161,955
投資信託受益証券(評価額)	13,020,470,650
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	1,005
(B) 負債	561,444,352
未払収益分配金	464,462,999
未払解約金	20,754,867
未払信託報酬	75,672,868
その他未払費用	553,618
(C) 純資産総額(A - B)	13,131,189,258
元本	12,901,749,987
次期繰越損益金	229,439,271
(D) 受益権総口数	12,901,749,987口
1万口当り基準価額(C / D)	10,178円

* 期首における元本額は12,816,973,728円、当作成期間中における追加設定元本額は1,098,447,802円、同解約元本額は1,013,671,543円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,178円です。

■損益の状況

当期 自2025年10月28日 至2026年4月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	619,978円
受取利息	619,978
(B) 有価証券売買損益	407,858,333
売買益	419,496,229
売買損	△ 11,637,896
(C) 信託報酬等	△ 76,226,486
(D) 当期損益金(A + B + C)	332,251,825
(E) 前期繰越損益金	408,850,662
(F) 追加信託差損益金	△ 47,200,217
(配当等相当額)	(396,881,963)
(売買損益相当額)	(△444,082,180)
(G) 合計(D + E + F)	693,902,270
(H) 収益分配金	△464,462,999
次期繰越損益金(G + H)	229,439,271
追加信託差損益金	△ 47,200,217
(配当等相当額)	(396,881,963)
(売買損益相当額)	(△444,082,180)
分配準備積立金	276,639,488

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	505,638円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	331,746,187
(c) 収益調整金	396,881,963
(d) 分配準備積立金	408,850,662
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,137,984,450
(f) 分配金	464,462,999
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	673,521,451
(h) 受益権総口数	12,901,749,987口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)

360円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年4月27日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年10月28日から2026年4月27日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
1364国庫短期証券	2026/5/25	16,069,635			
1344国庫短期証券	2026/2/24	15,980,819			
1343国庫短期証券	2026/2/16	4,794,076			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年4月27日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（20,436,129千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2026年4月27日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
国債証券	千円 16,100,000	千円 16,090,553	% 77.0	% -	% -	% -	% -	% 77.0

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年4月27日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1364国庫短期証券		% -	千円 16,100,000	千円 16,090,553	2026/05/25

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第21期 (決算日 2025年12月9日)

(作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

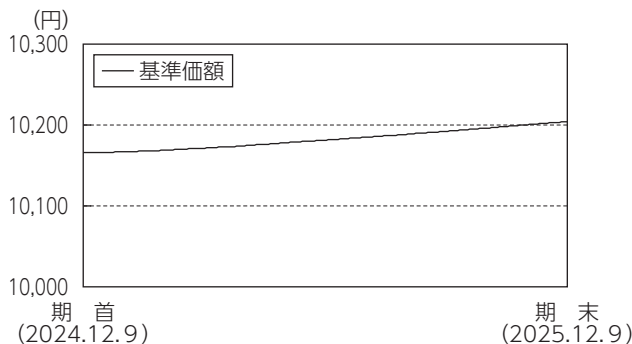
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
(期首)2024年12月9日	円	%	%
	10,166	-	59.0
12月末	10,166	0.0	57.5
2025年1月末	10,168	0.0	55.9
2月末	10,170	0.0	59.7
3月末	10,173	0.1	60.0
4月末	10,176	0.1	61.8
5月末	10,180	0.1	52.0
6月末	10,184	0.2	60.0
7月末	10,187	0.2	57.7
8月末	10,191	0.2	59.8
9月末	10,195	0.3	55.1
10月末	10,199	0.3	51.8
11月末	10,203	0.4	58.2
(期末)2025年12月9日	10,204	0.4	61.1

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,166円 期末：10,204円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	78,231,674	(71,400,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		当		期	
		買	付	売	付
銘	柄	金	額	銘	柄
			千円		千円
1344	国庫短期証券 2026/2/24	15,980,819			
1306	国庫短期証券 2025/8/18	13,492,845			
1325	国庫短期証券 2025/11/17	12,985,752			
1296	国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972			
1277	国庫短期証券 2025/3/31	10,796,144			
1343	国庫短期証券 2026/2/16	4,794,076			
1286	国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277			
1324	国庫短期証券 2025/11/10	2,897,018			
1305	国庫短期証券 2025/8/12	2,297,769			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち8B格以下 格組入比率	残存期間別組入比率	
	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	20,800,000	20,780,911	61.1	—	—	61.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額 面 金 額	評 価 額	額 面 金 額	評 価 額
			千円	千円	千円	千円
国債証券	1343国庫短期証券	—	4,800,000	4,795,829	2026/02/16	
	1344国庫短期証券	—	16,000,000	15,985,081	2026/02/24	
合計	銘柄数 金額	2銘柄	20,800,000	20,780,911		

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	20,780,911	58.7		
コール・ローン等、その他	14,609,573	41.3		
投資信託財産総額	35,390,484	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産		35,390,484,519円
コール・ローン等		14,609,573,235
公社債(評価額)		20,780,911,284
(B) 負債		1,402,481,300
未払解約金		1,402,481,300
(C) 純資産総額(A-B)		33,988,003,219
元本		33,307,565,574
次期繰越損益金		680,437,645
(D) 受益権総口数		33,307,565,574口
1万口当り基準価額(C/D)		10,204円

* 期首における元本額は23,177,163,591円、当作成期間中における追加設定元本額は50,088,245,959円、同解約元本額は39,957,843,976円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOF5用) (適格機関投資家専用)	16,688,116,164円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A 新時代- (為替ヘッジあり)	1,316円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A 新時代- (為替ヘッジなし)	1,316円
ダイワFEグローバル・パリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEグローバル・パリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
世界水資源関連株ファンド	984円
ダイワ/RICI* コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,270円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	1,560,811,028円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	5,806,034,797円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	5,083,866,572円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース	263,370,352円
iFreeETF 英国FTSE100	259,617,276円
D/Cダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,643,629,488円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	1,851円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,763円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	1,957円
ダイワFEグローバル・パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド	984円
ブラックストーン・プライベート・クレジット・JPFYファンド (毎月分配型)	982円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,777円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,204円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	102,466,182円
受取利息	102,466,182
(B) 有価証券売買損益	384
売買益	384
(C) 当期損益金(A + B)	102,466,566
(D) 前期繰越損益金	383,987,511
(E) 解約差損益金	△729,085,419
(F) 追加信託差損益金	923,068,987
(G) 合計(C + D + E + F)	680,437,645
次期繰越損益金(G)	680,437,645

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／株式 無期限
運用方針	アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用 対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) アンカーMFGグローバル株式マザーファンド アンカーMFGグローバル株式マザーファンド 海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザー ファンド の運用 方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通じて年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えるものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針	収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等取扱いおよび売買益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーフンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版）

第7期（決算日 2026年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2026年4月1日に第7期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ北山石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）》

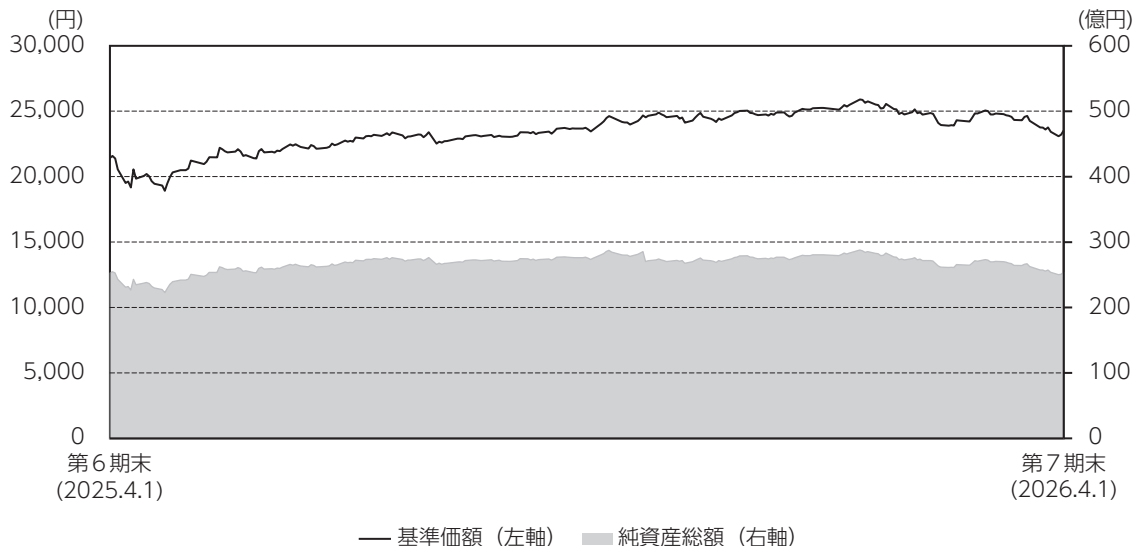
最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
	円	税 込 分配金	期 中 騰落率	参 考 指 数	期 中 騰落率			
3期 (2022年4月1日)	円 13,908	円 0	% 10.3	16,408	% 22.9	% 88.2	% 3.5	百万円 37,944
4期 (2023年4月3日)	14,291	0	2.8	16,602	1.2	94.5	—	27,202
5期 (2024年4月1日)	20,350	0	42.4	23,613	42.2	94.7	—	26,361
6期 (2025年4月1日)	21,423	0	5.3	25,146	6.5	94.9	—	25,255
7期 (2026年4月1日)	23,529	0	9.8	31,597	25.7	94.6	—	25,391

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：21,423円

期 末：23,529円

騰落率：+9.8%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	10.7%

■基準価額の主な変動要因

株式と為替がともにプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、情報技術、コミュニケーション・サービス、金融での保有銘柄の株価が上昇しました。為替は、米ドルほかの組入通貨に対して円安となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投 資 証 券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2025年4月1日	円	%		%	%	%
	21,423	—	25,146	—	94.9	—
4月末	20,498	△ 4.3	24,029	△ 4.4	95.0	—
5月末	21,855	2.0	25,750	2.4	95.1	—
6月末	22,759	6.2	26,981	7.3	95.2	—
7月末	23,176	8.2	28,493	13.3	95.4	—
8月末	23,070	7.7	28,698	14.1	95.1	—
9月末	23,735	10.8	29,749	18.3	95.6	—
10月末	24,542	14.6	31,463	25.1	95.0	—
11月末	25,019	16.8	31,964	27.1	95.4	—
12月末	25,252	17.9	32,605	29.7	95.1	—
2026年1月末	24,750	15.5	32,554	29.5	95.0	—
2月末	24,832	15.9	33,052	31.4	95.0	—
3月末	23,214	8.4	31,026	23.4	94.5	—
(期 末) 2026年4月1日	23,529	9.8	31,597	25.7	94.6	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、トランプ政権による相互関税の公表を受け急落したものの、その後各国との貿易協議が進展し市場の過度な懸念が和らいだことで、反発しました。その後は、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測や、A I 関連企業を中心とした良好な企業業績を支えに、上昇基調で推移しました。期末にかけては、中東情勢の緊迫化や原油価格の上昇を受け、投資家心理が悪化したことなどを背景に下落しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期初、米政権の相互関税により米国の景気後退懸念が急速に高まり、米ドルが売られる局面も見られたものの、その後貿易摩擦の緩和が観測されたことで米ドル買いが進みました。またその後も、日本政局を巡る先行き不透明感や、日銀の利上げに対する慎重な姿勢などを受け、円安米ドル高が進行しました。期末にかけても、中東情勢を受けた有事のドル買いが広がり、期を通じては円は米ドルに対し下落しました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

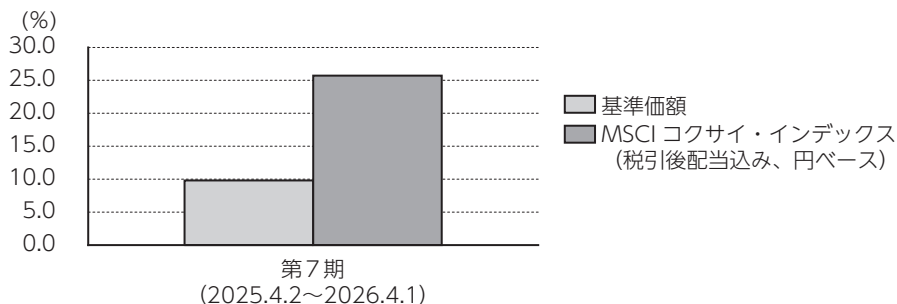
○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な不可欠な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年4月2日	～2026年4月1日
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		13,528

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

株式市場については、中長期的には引き続き前向きな見通しを維持しています。一方で、足元ではバリュエーションが高水準にある中、地政学リスクや各国政策の不確実性、AIによる産業構造の変化など、市場を取り巻く懸念やリスクが拡大しており、短期的には慎重な姿勢を強めています。もっとも、このような環境下では、市場全体の調整を背景に、中長期的な成長力を有する高クオリティ銘柄が過度に売られやすく、投資妙味が高まる局面と捉えています。当ファンドでは、こうした局面を長期的な視点で投資機会と位置付け、リスクとリターンのバランスが改善した銘柄を中心に投資を行う方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第7期		項 目 の 概 要
	(2025.4.2~2026.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	194円	0.825%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は23,558円です。
(投信会社)	(184)	(0.785)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(3)	(0.011)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(7)	(0.029)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	7	0.031	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.031)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	4	0.015	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	205	0.871	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2025年4月2日から2026年4月1日まで)

親投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	329,821	807,000	1,363,234	3,471,930

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年4月2日から2026年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	33,015,926千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	29,392,788千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.12

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2026年4月1日現在)

	期首(前期末)		当 期 末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	11,234,661	10,201,249	25,444,975

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2026年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	25,444,975	99.7
コール・ローン等、その他	77,012	0.3
投資信託財産総額	25,521,987	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.87円、1スイスフラン=199.19円、1ユーロ=183.86円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(29,538,304千円)の投資信託財産総額(29,626,489千円)に対する比率は99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	25,521,987,225円
コール・ローン等	11,705
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	25,444,975,520
未収入金	77,000,000
(B) 負債	130,467,631
未払解約金	76,999,998
未払信託報酬	52,576,633
その他未払費用	891,000
(C) 純資産総額(A - B)	25,391,519,594
元本	10,791,716,287
次期繰越損益金	14,599,803,307
(D) 受益権総口数	10,791,716,287口
1万口当り基準価額(C / D)	23,529円

* 期首における元本額11,788,820,168円、当期中における追加設定元本額348,075,951円、同解約額1,345,179,832円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は2,352,9円です。

■損益の状況

当期(自2025年4月2日 至2026年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	2,434,590,071円
売買益	2,824,864,794
売買損	△ 390,274,723
(B) 信託報酬等	△ 221,853,482
(C) 当期損益金(A + B)	2,212,736,589
(D) 前期繰越損益金	9,941,110,953
(E) 追加信託差損益金	2,445,955,765
(配当等相当額)	(1,192,928,999)
(売買損益相当額)	(1,253,026,766)
(F) 合計(C + D + E)	14,599,803,307
次期繰越損益金(F)	14,599,803,307
追加信託差損益金	2,445,955,765
(配当等相当額)	(1,193,692,427)
(売買損益相当額)	(1,252,263,338)
分配準備積立金	12,153,847,542

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程

計算期間末に、費用控除後の配当等収益額253,035,546円(1万口当り234.47円)、有価証券売買等損益1,959,701,043円(1万口当り1815.93円)、収益調整金額2,445,955,765円(1万口当り2,266.51円)及び、分配準備積立金9,941,110,953円(1万口当り9,211.80円)から分配対象収益額は14,599,803,307円(1万口当り13,528円)となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2025年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2026年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（11,846,760千口）の内容です。

（2026年4月1日現在）

外国株式

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	721	640	13,346	21,200,435	一般商・サービス(小売)
APPLE INC	275	-	-	-	テクノロジー(ソフトウェア)
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	-	82	3,952	6,272,924	金融サービス
YUM! BRANDS INC	418	412	6,408	1,018,080	消費者サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR SP ADR	401	333	11,259	1,788,847	半導体・半導体製造装置
COCA-COLA CO/THE	287	615	4,679	743,506	食品・飲料・タバコ
COLGATE-PALMOLIVE CO	268	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
REGALTE SERVICES INC	210	-	-	-	商業・専門サービス
INTUIT INC	98	108	4,710	748,332	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	387	323	11,967	1,901,233	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	717	-	-	-	医薬品(生物学的製剤)
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	331	478	6,913	1,098,366	家庭用品・パーソナル用品
STRYKER CORP	158	113	3,741	594,384	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	78	417	4,014	637,837	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	134	194	5,272	837,590	ヘルスケア機器・サービス
CME GRP INC	-	123	3,636	577,800	金融サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	1,262	1,461	4,679	743,357	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	161	149	7,450	1,183,729	金融サービス
MSCI INC	-	105	5,695	904,793	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	236	245	7,431	1,180,638	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	137	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	132	137	7,867	1,249,978	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	348	361	5,684	903,082	金融サービス
MEDTRONIC PLC	-	550	4,766	757,189	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL A	434	257	7,394	1,174,735	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	109	67	1,924	305,797	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	617	643	7,446	1,182,961	公益事業
小計	株数・金額 23銘柄数<比率>	7,930 23銘柄	7,823 22銘柄	140,244 22,280,603	<75.4%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	157	156	5,461	1,004,195	家庭用品・パーソナル用品
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUI	58	-	-	-	耐久消費財・アパレル
HERMES INTL	-	29	4,687	861,754	耐久消費財・アパレル
小計	株数・金額 2銘柄数<比率>	215 2銘柄	185 2銘柄	10,148 1,865,950	<6.3%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ADIDAS AG	-	229	3,133	576,154	耐久消費財・アパレル
SAP SE	222	408	6,006	1,104,264	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 2銘柄数<比率>	222 2銘柄	638 2銘柄	9,139 1,680,418	<5.6%>

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	83	42	4,764	875,988	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 1銘柄数<比率>	83 1銘柄	42 1銘柄	4,764 875,988	<3.0%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	521 4銘柄	866 5銘柄	24,052 4,422,357	<15.0%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NESTLE SA-REG	662	755	5,924	1,180,096	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	662 1銘柄	755 1銘柄	5,924 1,180,096	<4.0%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	985	-	-	-	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	985 1銘柄	- 0銘柄	- -	<-%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,100 29銘柄	9,444 28銘柄	27,883,057 4,422,357	<94.4%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2025年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2025年7月1日に第7期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

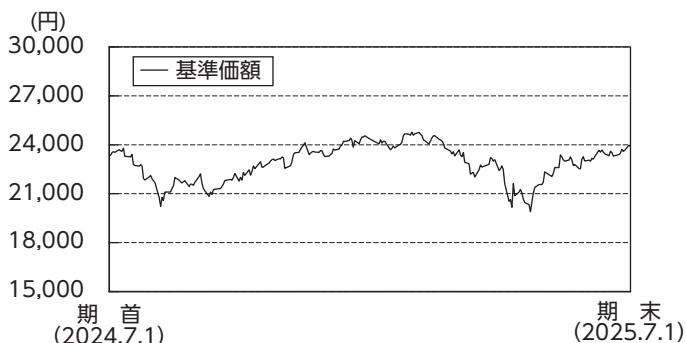
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率		期中騰落率			
3期(2021年7月1日)	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5	百万円 46,328
4期(2022年7月1日)	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7	36,841
5期(2023年7月3日)	17,252	25.4	19,254	26.0	92.9	—	30,236
6期(2024年7月1日)	23,350	35.3	25,916	34.6	94.6	—	31,500
7期(2025年7月1日)	23,888	2.3	26,885	3.7	95.0	—	30,903

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率		騰落率		
(期首) 2024年7月1日	23,350	—	25,916	—	94.6	—
7月末	21,926	△6.1	24,513	△5.4	93.9	—
8月末	21,697	△7.1	24,087	△7.1	95.2	—
9月末	21,765	△6.8	24,376	△5.9	95.1	—
10月末	23,207	△0.6	26,227	1.2	92.1	—
11月末	23,278	△0.3	26,372	1.8	95.3	—
12月末	24,382	4.4	27,424	5.8	96.0	—
2025年1月末	24,676	5.7	27,511	6.2	95.8	—
2月末	23,320	△0.1	26,042	0.5	95.5	—
3月末	22,421	△4.0	25,088	△3.2	94.7	—
4月末	21,566	△7.6	24,029	△7.3	94.9	—
5月末	23,008	△1.5	25,750	△0.6	94.9	—
6月末	23,976	2.7	26,981	4.1	95.0	—
(期末) 2025年7月1日	23,888	2.3	26,885	3.7	95.0	—

(注) 騰落率は期首比。

【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：23,350円 期末：23,888円 騰落率：+2.3%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、コミュニケーション・サービス、金融、資本財・サービスでの保有銘柄の株価が上昇しました。為替は、米ドルほかの組入通貨に対して概ね円高となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から期中にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測や良好な米企業業績などを支えに上昇基調で推移しました。2025年4月には、トランプ政権による相互関税の公表を受けた市場の急落も見られましたが、その後各国との貿易協定の進展を背景に反発し、期を通じては、先進国株式市場は上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初は、F R Bによる利下げ観測や軟調な米経済指標を受け、急速に円高米ドル安が進みました。一方その後、米国の利下げ決定後は、利下げペースが緩やかになるとの見方から、円売り米ドル買いが優勢となりました。期中から期末にかけては、日銀による利上げ観測や米景気の減速懸念などを背景に円は米ドルに対して上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

米国経済は底堅さを保ち、保有銘柄の先行き見通しもおおむね良好とみています。一方、株式市場では米国の利下げに焦点が集まっており、利下げ時期を巡る思惑の変化が、株式市場の変動性を高める可能性を警戒しています。そのため、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を基に良好な業績が期待できる高感応度銘柄の比率を高位に維持しつつも、利下げ等を巡る不確実性にも留意し、低感応度銘柄やキャッシュを活用することで、ポートフォリオの分散も図っていく方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、エコノミック・モート（持続可能な競争優位性）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+2.3%、+3.7%となりました。

【今後の運用方針】

今後各国の貿易協定が進展していくことで、また、各国が景気刺激策を打ち出すことで、市場は引き続き回復していくことを想定しており、当戦略ではこれまで通り、市場との連動性を高めたポートフォリオ運営を行う方針です。一方、足元の株式市場の割高感を踏まえると、過去2年間のような大幅な上昇の可能性は低いとみており、今後相場の変動性が高まった場合にも対応できるよう、低感応度銘柄を厳選することでポートフォリオのディフェンシブ性向上にも注力する方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式)	5円 (5)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	8

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2024年7月2日から2025年7月1日まで)

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	百株 5,133	千米ドル 87,083	百株 4,137	千米ドル 92,712
カナダ	百株 114	千カナダドル 746	百株 491	千カナダドル 3,623
スイス	百株 583	千スイスフラン 4,822	百株 532	千スイスフラン 4,670
ユ ー ロ	百株 ドイツ	千ユーロ 211	百株 279	千ユーロ 6,318
	百株 フランス	千ユーロ 8,923	百株 33	千ユーロ 1,961
	百株 オランダ	千ユーロ 2,615	百株 38	千ユーロ 2,892
	百株 ユーロ 通貨計	千ユーロ 11,750	百株 350	千ユーロ 11,172

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年7月2日から2025年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,569,221千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,549,111千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.14

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2024年7月2日から2025年7月1日まで)

株式

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		46	1,362,498	29,362	TRANE TECHNOLOGIES PLC		22	1,339,663	60,150
PROCTER AND GAMBLE CO/THE		54	1,343,733	24,458	APPLE INC		40	1,250,788	31,085
MICROSOFT CORP		16	988,820	61,474	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN		50	1,241,098	24,458
WEC ENERGY GRP INC		61	895,514	14,531	COLGATE-PALMOLIVE CO		85	1,172,214	13,751
NESTLE SA-REG		58	843,046	14,454	SAP SE		27	1,025,749	36,754
MSCI INC		9	767,882	82,091	NETFLIX INC		6	994,105	144,052
L OREAL		12	758,770	58,874	REPUBLIC SERVICES INC		26	927,109	34,649
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		6	680,976	100,602	MICROSOFT CORP		13	892,239	66,774
ALPHABET INC-CL A		24	645,158	26,304	LOWES COS INC		21	876,203	41,242
COCA-COLA CO/THE		59	608,709	10,219	NESTLE SA-REG		53	800,769	15,026

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2025年7月1日現在)

外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	717	791	17,363	2,494,978	一般消費・サービス<小売>
APPLE INC	393	-	-	-	テクノロジー<ハードウェア>
YUM! BRANDS INC	403	599	8,885	1,276,731	消費者サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	-	452	10,258	1,474,096	半導体・半導体製造装置
COCA-COLA CO/THE	-	595	4,214	605,531	食品・飲料・タバコ
COLGATE-PALMOLIVE CO	739	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC	216	-	-	-	商業・専門サービス
INTUIT INC	118	82	6,492	932,897	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	149	-	-	-	一般消費・サービス<小売>
MCDONALDS CORP	67	-	-	-	消費者サービス
MICROSOFT CORP	314	341	17,005	2,443,585	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	426	462	3,189	458,227	医薬品<バイオ医薬品>
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	-	525	8,364	1,201,934	家庭用品・パーソナル用品
STRYKER CORP	170	166	6,595	947,657	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	115	59	7,953	1,142,779	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	166	202	6,318	907,970	ヘルスケア機器・サービス
CME GRP INC	-	152	4,199	603,364	金融サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	857	1,400	7,864	1,130,047	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	155	154	8,653	1,243,475	金融サービス
MSCI INC	-	93	5,394	775,182	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	252	243	8,653	1,243,491	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	169	110	4,216	605,909	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	157	149	11,001	1,580,766	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	673	346	6,360	913,945	金融サービス
TRANE TECHNOLOGIES PLC	209	-	-	-	資本財
ALPHABET INC-CL A	206	352	6,216	893,301	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	110	71	1,276	183,394	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	279	712	7,425	1,066,985	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,070 22銘柄	8,067 22銘柄	167,904	24,126,255 <78.1%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	35	153	5,579	945,540	家庭用品・パーソナル用品
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUI	34	79	3,535	599,229	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	70 2銘柄	233 2銘柄	9,115	1,544,769 <5.0%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	492	222	5,739	972,664	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	492 1銘柄	222 1銘柄	5,739	972,664 <3.1%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	85	83	5,630	954,261	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	85 1銘柄	83 1銘柄	5,630	954,261 <3.1%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	647 4銘柄	538 4銘柄	20,485	3,471,695 <11.2%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(スイス)	百株	百株	千スイフラン	千円	
NESTLE SA-REG	565	615	4,853	880,493	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	565 1銘柄	615 1銘柄	4,853	880,493 <2.8%>
(カナダ)	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	1,363	985	8,307	877,234	金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,363 1銘柄	985 1銘柄	8,307	877,234 <2.8%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,647 29銘柄	10,207 28銘柄	-	29,355,678 <95.0%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各別国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類(産業グループ)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2025年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	29,355,678	95.0
コール・ローン等、その他	1,547,485	5.0
投資信託財産総額	30,903,163	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=143.69円、1カナダドル=105.60円、1スイスフラン=181.40円、1ユーロ=169.47円です。

(注3) 当期末における外貨建資産 (30,822,916千円) の投資信託財産総額 (30,903,163千円) に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,905,322,912円
コール・ローン等	1,539,907,371
株式 (評価額)	29,355,678,315
未収入金	2,160,895
未収配当金	7,575,563
未収利息	768
(B) 負債	2,166,347
未払金	2,166,347
(C) 純資産総額(A - B)	30,903,156,565
元本	12,936,779,927
次期繰越損益金	17,966,376,638
(D) 受益権総口数	12,936,779,927口
1万口当り基準価額(C/D)	23,888円

* 期首における元本額13,490,766,970円、当期中における追加設定元本額670,026,735円、同解約額1,224,013,778円

* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 11,256,091,628円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 100,714,191円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (分配型) (適格機関投資家専用) 1,579,974,108円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は2,3888円です。

■損益の状況

当期 (自2024年7月2日 至2025年7月1日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	277,259,418円
受取配当金	255,158,965
受取利息	22,077,350
その他収益	23,103
(B) 有価証券売買損益	410,200,196
売買益	5,580,963,643
売買損	△ 5,170,763,447
(C) 信託報酬等	△ 3,683,151
(D) 当期損益金(A + B + C)	683,776,463
(E) 前期繰越損益金	18,009,563,196
(F) 追加信託差損益金	864,853,658
(G) 解約差損益金	△ 1,591,816,679
(H) 合計(D + E + F + G)	17,966,376,638
次期繰越損益金	17,966,376,638

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。